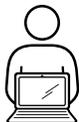


# 万全の不正対策で認定プログラムの価値を維持

テクノロジー概要



「Red Hat の認定試験はハンズオン形式です。試験の目的を事前に知っていたとしても、それぞれの試験で条件が異なるため、答えを暗記するだけでは合格できません。これが、多肢選択式よりも実践式の方がよいと言える理由の一つです。また、実践式の試験には不正行為を防ぐ効果もあります」

SEAN MILLICHAMP、  
RED HAT 認定エンジニア  
および企業アーキテクト  
SECURE-24

## IT 部門のスタッフ選定は認定プログラムが基準

認定プログラムは、IT マネージャーがビジネスの成長を促すことのできる、知識豊富な IT プロフェッショナルチームを効果的に構築、育成する上で役立ちます。実際、雇用主の 91% は、IT 認定資格は採用段階で重要な役割を果たすもので、認定資格は従業員が成果を収めるかどうかを判断する際の信頼できる基準であると考えています。<sup>1</sup> IT プロフェッショナルは、認定資格を活用して自分の価値をアピールしており、45% の IT プロフェッショナルは自身のキャリアアップのために認定試験を利用しています。<sup>2</sup>

## 試験のセキュリティが認定プログラムの価値に与える影響

試験における不正行為は、より大きな問題となっています。試験資料はしばしば盗まれオンラインで売られており、替え玉を雇う受験者もいます。トレーニングベンダーは、能力を伸ばすことではなく、試験に合格することを重要視してテスト準備資料を作成します。その結果、受験者のスキルと知識について、信頼性があり一貫した証明を提供するには、試験のセキュリティが極めて重要になります。

試験のセキュリティにおける 3 つの主要な要素は次のとおりです。

- 身元確認: 試験を受ける個人が本人であることを確認
- コンテンツ: 受験者が試験前に試験資料を入手できないことを確認
- プロセス: すべての受験者が同じルールに従っており、試験中は許可されているリソースにのみアクセス可能であることを確認

これらの要素のうち 1 つ以上が損なわれると、その認定は個人のスキルおよび専門知識の評価として信頼性が低いものとなります。結果として、認定プログラムの価値と有効性は低下します。

## RED HAT のハンズオン型アプローチが試験のセキュリティを強化

Red Hat は、均質で信頼性に優れ、高い信用度を誇る認定プログラムを創出しました。認定試験は質問形式ではなく実践的な内容になっているので、受験者の実力をよりの確に評価できます。Red Hat 認定の受験者は試験の中で、業務で実践するように、助けを借りずに実際の IT タスクに取り組みます。

試験は次の 2 通りの方法で実施されます。

- クラスルーム試験。Red Hat の試験施設内の教室で事前に設定済みのハードウェアを使用して、試験監督者の下で実施されます。受験者は、事前に指定された試験日程と会場で受験します。
- 個人用試験。Red Hat または Red Hat パートナーの所在地にて、事前構成済みのキオスクまたはノートパソコンのシステムを使用して実施されます。受験者は、希望する時間に個人用試験の日程を決めることができます。

Red Hat は試験のセキュリティを重要視しており、Red Hat 認定資格の価値と質を維持するためにさまざまな技術を活用しています。試験のセキュリティを維持する主な手段については、次項で説明します。

<sup>1</sup> CompTIA、*「HR Perception of IT Training and Certification Study: 2015」* 2015 年 2 月

<sup>2</sup> InformationWeek、*「InformationWeek 2014 US IT Salary Survey」* 2014 年 2 月

## 身元確認

ある個人が他の人の代わりに試験を受ける代理受験は、常に問題となっています。受験者が試験を受けるはずの本人であることを確認するため、試験監督者はすべてのクラスルーム試験および個人用試験で、受験者の登録情報を政府発行の写真付き身分証明書と照合します。

## コンテンツ

多肢選択式テストの場合、指示と応答を暗記している受験者は、評価対象である原理を理解することなく試験に合格できる場合があります。反対に Red Hat のハンズオン形式の試験では、受験者が実際の IT タスクを完了することが求められます。受験者が試験コンテンツに事前に不正アクセスしていたとしても、受験者は限られた時間でタスクを実施する方法を学ばなければなりません。認定資格を取得した個人は、いかなる試験情報をも共有しないという厳格な機密保持契約を遵守し、それに従わない場合は認定資格を失うことになります。

## プロセス

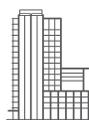
身元確認やコンテンツのセキュリティが確保されていたとしても、受験者が未承認のリソースや助けとなる資料にアクセスできてしまうと、試験の質は落ちてしまいます。Red Hat は、均質で管理されたテスト環境をすべての受験者に提供するために、プロセスのセキュリティに重点を置いています。これは、いくつかのメカニズムを採用することで実現しています。

- **試験監督者。**試験監督者はすべての試験を監視し、受験者が助けとなる外部資料にアクセスできないようにします。クラスルーム試験には人的監視が行われますが、個人用試験は数台のカメラを使用してリモートで監督されます。
- **物理的セキュリティ。**すべての試験は、適切な設定とシステムレベルでのセキュリティを確保するため、受験者の個人用システムではなく、事前構成済みの Red Hat ハードウェアを使用して実施されます。各システムは試験に必要な機能のみで構成されています。受験者がシステムそのものを利用して助けとなる資料にアクセスしないようにするため、ハードウェアポートは監視され、インターネットアクセスも無効になっています。
- **監視。**試験中、各システムはシステムの状態をアクティブに監視し、受験者がシステムセキュリティ上の対策を回避することができないようにします。
- **監査。**記録されたテストセッションを定期的に監査します。これは、リモートで監督される試験では特に重要になります。監査官は受験者の試験動画を確認し、試験中に作成された内容を再作成し、受験者のデスクトップセッションを再現することができます。これにより、監査官は受験者が試験中、試験監督者に見つからずに助けとなる資料を使用したかどうかを確認し、セキュリティ上の対策を評価および改善するための方法を提供することができます。

## まとめ

試験のセキュリティは、個人のスキルと専門知識に対する信頼できる認定には欠かせません。Red Hat 認定プログラムは、ハンズオン形式のテストと強化された試験のセキュリティを組み合わせているため、資格条件を満たした人材を求めている IT マネージャーにとっても、他者との差別化を図って雇用主にアピールしたい IT プロフェッショナルにとっても、より価値のある認定プログラムとなっています。

試験のスケジュールや Red Hat 認定プロフェッショナルのデータベースを検索する場合、また Red Hat 認定プログラムの詳細についてご覧になるには [redhat.com/ja/services/certification](https://redhat.com/ja/services/certification) にアクセスしてください。



## RED HAT について

オープンソースソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備えるクラウド、Linux、ミドルウェア、ストレージおよび仮想化テクノロジーを提供、さらにサポート、トレーニング、コンサルティングサービスも提供しています。Red Hat は、お客様、パートナーおよびオープンソースコミュニティのグローバルネットワークの中核として、成長のためにリソースを解放し、ITの将来に向けた革新的なテクノロジーの創出を支援しています。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200

**インドネシア**  
001 803 440224

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**ベトナム**  
800 862 6691

**オーストラリア**  
1 800 733 428

**日本**  
03 5798 8510

**フィリピン**  
800 1441 0229

**中国**  
800 810 2100

**ブルネイ / カンボジア**  
800 862 6691

**韓国**  
080 708 0880

**シンガポール**  
800 448 1430

**香港**  
852 3002 1362

**インド**  
+91 22 3987 8888

**マレーシア**  
1 800 812 678

**タイ**  
001 800 441 6039

**台湾**  
0800 666 052



facebook.com/redhatjapan  
@redhatjapan  
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com  
#INC0336972\_1115

Copyright © 2016 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, Shadowman ロゴ、および JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。